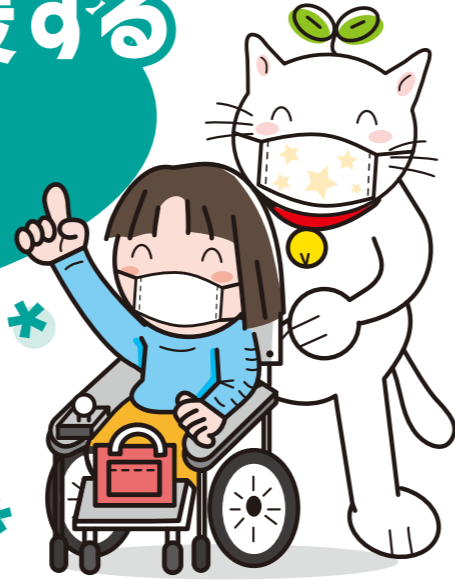


初心者*

障がいがある方を支援する ボランティア活動に トライしてみませんか！

身体・知的・精神障がい児・者・障害者
総合支援法の対象となる難病等の患者（児童
含む）の通学・通所支援、外出支援など



ガイドボランティアを募集しています

ガイドボランティアとは、障がいがある方で、ひとりで外出が困難な方に付き添う外出支援ボランティアです。学校の送り迎えやご近所への買い物の付き添いなど、歩くのが好きな方や障がいのある方を支える活動に興味のある方を募集しています。横浜市のガイドボランティア事業に登録していただくと、活動に保険が適用され、奨励金も支払われます。

移動情報センターは、横浜市内の事務取扱団体として登録を受け付けると共に、安心安全な活動のためのサポートを行っています。

移動情報センターの 取り組み

- ◆ガイドボランティア事業の周知
- ◆ガイドボランティア・対象者の登録
- ◆ガイドボランティア事業事務取扱
- ◆活動の紹介とサポート
- ◆ガイドボランティア養成講座、ステップアップ研修、交流会の開催
- ◆活動保険のサポート
- ◆障がい特性の理解と周知

【相談・登録・お問合せ先】 社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会 金沢区移動情報センター
 専用電話 045-786-8034
 FAX :045-784-9011 E-mail : info@kanazawa-shakyo.jp
 月曜～金曜 9時～17時 土・日・祝・年末年始除く
 〒236-0021 横浜市金沢区泥亀1-21-5 いきいきセンター-金沢内
 京浜急行線「金沢文庫駅」より徒歩7分

善意銀行寄託者（令和3年2月1日～5月31日）以下の方々からご寄付をいただきました。ありがとうございました。（敬称略・順不同）
 イトーヨーカドー労働組合 能見台支部、久次智夫、横浜セレモ株式会社、カトリック金沢教会、安藤幹枝、かなざわささえ隊
 他匿名3名 合計221,957円
 ※区内の福祉団体へ配分します。ご協力ありがとうございました。

お詫び【区社協広報誌「福祉かなざわ」115号（タウンニュース版）の掲載文について】

令和3年3月18日に発行いたしました「福祉かなざわ」115号（タウンニュース版）の掲載内容に、一部誤解を招く表現がございました。記事左側、「グループホーム入門講座 グループホーム（GH）って？」の一行目に、「知的障がい者や精神障がい者、認知症の症状がある方などが専門スタッフの支援のもと集団で暮らす『家』のこと。」と説明しておりますが、グループホームは「身体障がい者」の方も利用いただくことが可能です。誤解を招く表現となりましたことを深くお詫び申し上げます。



記事の詳細はこちら
から見られます

福祉 かなざわ

「福祉かなざわ」編集委員会
社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀1-21-5

Tel 788-6080 Fax 784-9011

HP <http://www.kanazawa-shakyo.jp/>

Mail info@kanazawa-shakyo.jp



*「福祉かなざわ」のバックナンバーをご希望の方は、金沢区社協までお問合せください。録音版もあります。お問合せください。

特集

コロナ禍の地域のつながり

外出、運動、人と会うのに気がつかう日々、金沢区では知恵と工夫を生かした活動が続いています。→詳しくは中面で



花を届ける・花壇を手入れする 【六浦小学校の福祉教育・フラワープロジェクト】

「地域とのつながり」をテーマに、六浦小学校4年1組の子どもたちは、学校で育てた花の苗を、民生委員を通じて一人暮らしの高齢者にお届けしました。また、子どもたちが民生委員の活動を知る機会にもなりました。4年2組の子どもたちは、近くの地域ケアプラザに花壇の手入れに行き、デイサービス利用者や「窓越しのコミュニケーション」を体験。あいさつ運動で接点のある見守り隊の人たちにはプランターの花を贈り、感謝の気持ちを伝えました。



学校で育てた苗をお届けしました



花壇の手入れに全集中！

タブレット端末を使って防災マップ作り 【ガールスカウト】

長年取り組んでいる「ぼうさいマップ街歩き&マップ作り」。今年はタブレット端末を使って少人数に分かれて行いました。デジタル機器を活用して写真・文章で情報を的確に伝えることは、実際の災害時にも必要と気づきました。



情報を1つ1つタブレットに入力していきます



みんなでたたく
さへん歩いて
作ったマップ
ですにゃ！

密回避に、間隔を空けてスタート【ウォークラリー】

参加者がコース上で密にならないよう5分間隔でスタート。気持ちよくゴールした後は全員に参加賞のお菓子を配る予定です。(例年は豚汁・おにぎりが配られ、懇親の場が用意されます)

お弁当に代えて感染予防グッズ 【配食サービス】

調理中の密を避けるため、高齢者宅に定期的にお弁当を届ける代わりに、ハンドジェルとマスクを持って訪問。日頃の様子などを聞いて見守りの一環にしました。



町内会費で課題解決【ネット・倉庫の整備】

地域の活動が延期・中止となり、町内会費を有効に使うアイデアを考えた結果、ごみ収集場の緑のネットを新しくしたり、防災倉庫の備蓄品整備などを行いました。



新しくなった防災倉庫

コロナ禍でも できること・できたこと



おいしい食べ物を容器に入れて持ち帰り 【子ども食堂・地域食堂】

地域の人々が心を込めて作る食事、感染予防のためにみんなで食事するのが難しくなりました。その代わりに、用意した容器にご飯や料理を詰め、メッ



「おいしい」がたくさんの人に届きますように

セージ入りのおもて紙で包んだお弁当として持ち帰ってもらうことに。みんなで食べる楽しみはなくなっても愛情のこもった味に変わりはありません。

リモートで蕎麦打ち体験 【横濱麴づくり】

講師と参加者8人がリモートでつながり、蕎麦打ち教室を実施。講師はリハーサルを重ねて本番に臨み、参加者の夕食には打った蕎麦と家族が揚げた天ぷらが並ぶ光景も紹介され、楽しい時間を過ごしました。



美味しいお蕎麦をリモートで！

お互いを忘れないように【地域カフェ】

ボランティアメンバーがコーヒーの淹れ方などを忘れないように、利用者にはカフェのあることを思い出してもらうように…。シニア男性が運営の中心となっているカフェは、活動中断後、感染対策をきめ細かく行って再開しました。



手作りの感染予防シート

人と人をつなぐバトンを消毒 【高校の体育祭】

昨年9月に行われた金沢高等学校の体育祭に「消毒リレー」が登場、バトンを教師が消毒して次の走者に渡すクラス全員参加の対抗競技。生徒の発案をもとに、生徒会で実施に向けた検討・準備を重ねて密を避けた種目になり、自主自立の校風が生きました。



全力で走った消毒リレー

人数制限と、感染時の連絡網 【子育てサロン】

感染対策も万全にし、利用者・スタッフの人数を制限しました。万一に備え、感染者が出た場合の電話連絡網を作って活動を続けています。



みんなで遊ぶと楽しいね！

声を出しながらも、消毒・換気を徹底 【合唱グループ】

マスク+フェイスシールドで飛沫を抑え、譜面はクリアファイルに入れて使用。また、十分な換気とファイル、室内の消毒と手洗い・消毒を徹底しています。



久しぶりの合唱…声を出すのは気持ちいい

コロナが落ち着いたら、どんなことをしたい？

今回、取材に伺った皆さんへこんな質問をしました。



地域の皆様と直接お会いし、金沢区の魅力や地域の活動や歴史についてお話を伺い、地域で大切に守られてきた様々なものに接したいと思っています
【金沢区長 永井京子】

入学以来、堂々と友だちと遠出ができなかったのが、一緒に遊びに行ったり、マスクなしで面と向かってご飯を食べたりしたいです
【高校生】



これまで以上にチームワークを発揮して、一日でも長く活動を続けたいです
【子ども食堂・地域食堂スタッフ】

蕎麦打ち教室を順次、再開したいです。うどん、ラーメン、パスタ作りのリモート講座も考えています
【蕎麦打ち講師】

